Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO

味の素株式会社 (2802)

2027年３月期　業績予想および企業価値向上に向けた取り組み

執行役　IR室長

梶　昌隆

2026年8月6日

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、
本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、
予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨の
ものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、
大きく異なる結果となる可能性があります。

●本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。

●アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。

AJINOMOTO

お伝えしたいこと

- **FY26-1Qは増収・大幅増益。**
  売上高・事業利益・当期利益のいずれも、第一四半期としての新記録。
  事業利益は、前年同期比で127%成長。

- **食品事業では、調味料・食品事業全体で、国内・海外ともに増収・増益。**

- **ヘルスケア等は大幅増収・大幅増益。**
  ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）が好調継続。
  バイオファーマサービス&イングリディエンツも全体で増収・大幅増益となった。

- **FY26通期予想は、ファンクショナルマテリアルズの好調な販売状況を反映し、**
  売上高・事業利益・当期利益をいずれも上方修正。
  中東情勢によるコスト増影響は、機動的な対応を講じ、修正予想の着実な達成を目指す。

- **グループ全体の人財力・組織力を一段と引き上げてASV経営を進化させ、**
  「2030ロードマップ」の前倒しの達成に引き続き挑戦していく。

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-1. FY26-1Q(4-6月)　決算ダイジェスト

売上高：増収（新記録）

4,121億円

対前年実績：113%

除く為替影響：105%

増収額：480億円

事業利益：大幅増益（新記録）

601億円

対前年実績：127%

除く為替影響：119%

増益額：128億円

親会社の所有者に帰属する当期利益：増益（新記録）

364 億円

対前年実績 :113%

増益額：42億円

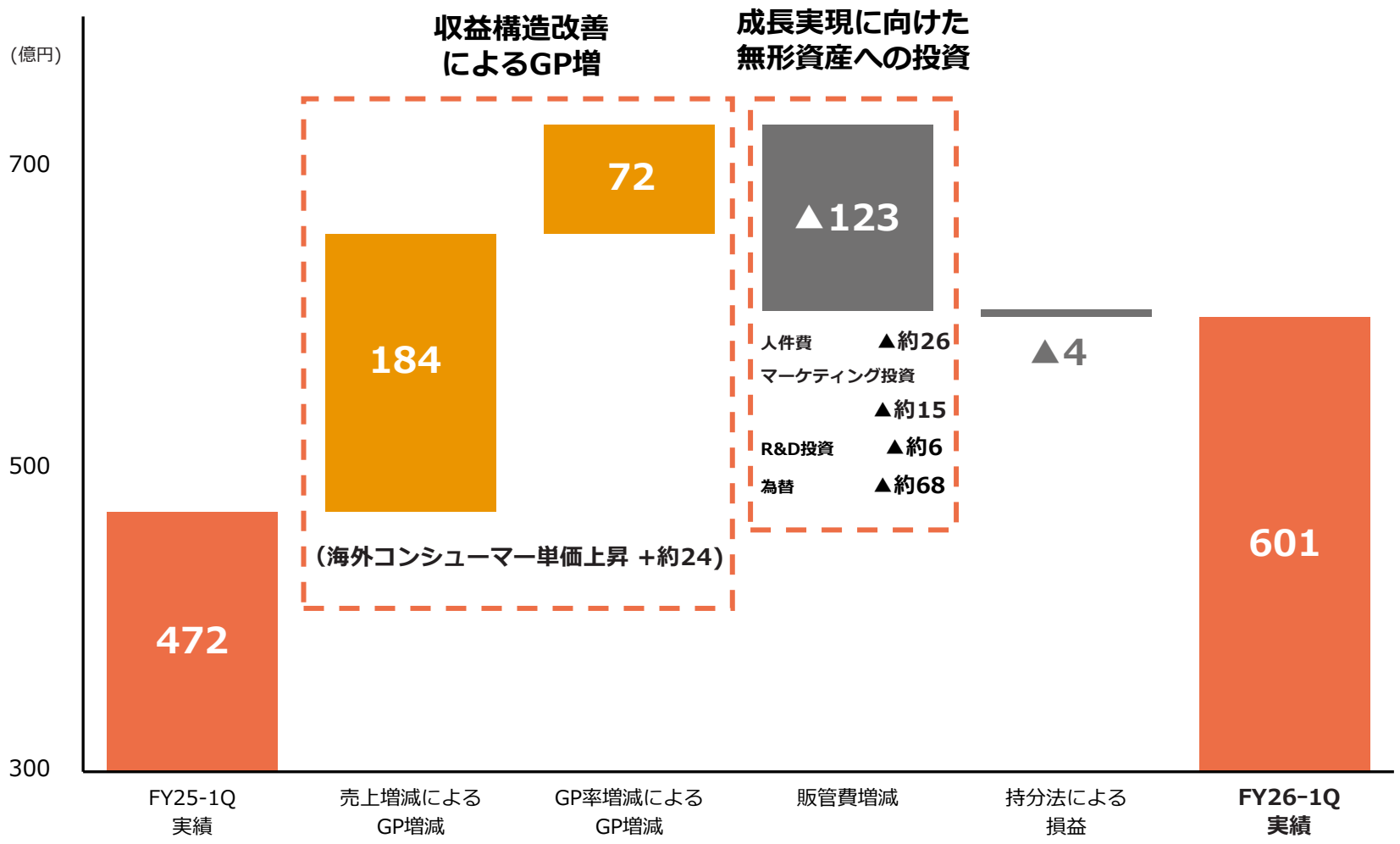
対前年増減内訳

（億円）

	対1Q-FY25	FY26 1Q累計に影響した内容
売上高	480	
売上増減によるGP増減	184	調味料・食品、ファンクショナルマテリアルズ、医薬用・食品用アミノ酸などが貢献
GP率変動によるGP増減	72	海外調味料、国内コーヒー、ファンクショナルマテリアルズ、医薬用・食品用アミノ酸などが貢献
販管費増減	▲123	人財投資の拡充や、戦略的費用の投入により増加
持分法による損益	▲4	
事業利益計	128	
その他営業収益･費用	▲63	前年は、主に為替評価損益の改善で増益
金融収益・費用	4	
親会社帰属当期利益計	42	

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-2. 事業利益増減要因（P&L要素別 FY26-1Q実績）

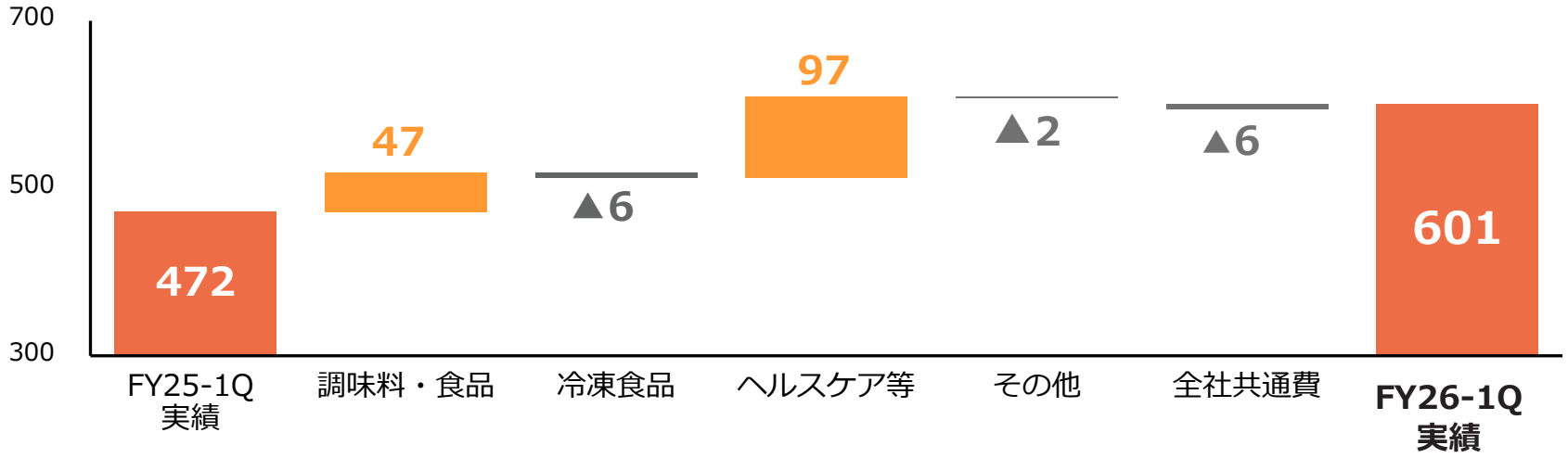


(参考) 為替影響 約37億円

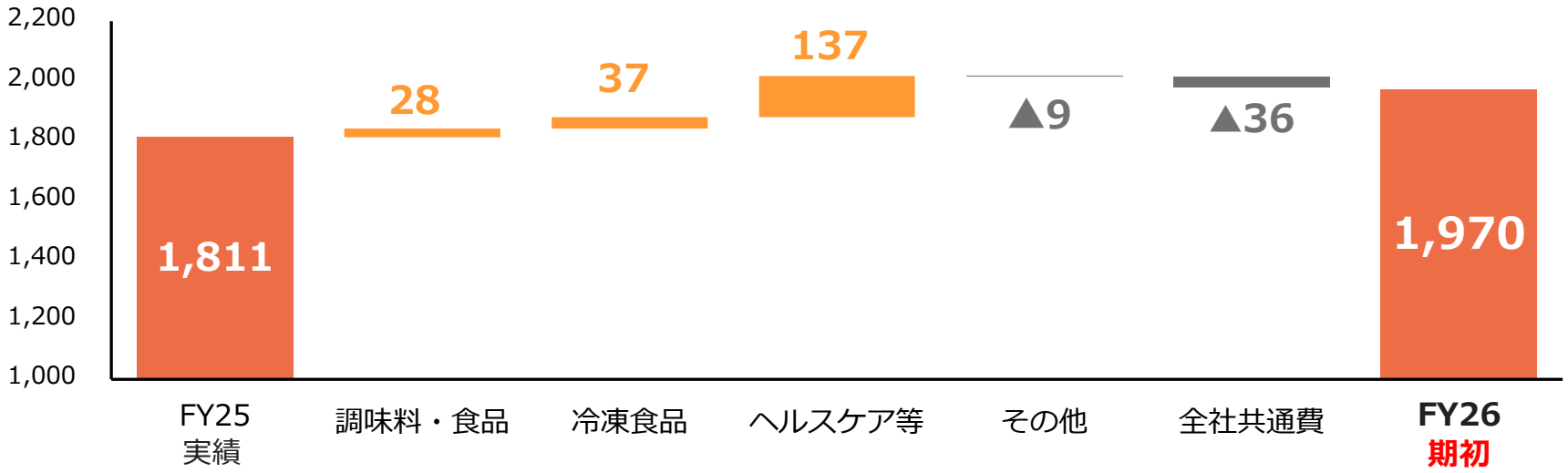
Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-2. 事業利益増減要因（開示セグメント別 FY26-1Q実績）

FY26 1Q実績 対 FY25 1Q実績 (億円)



（参考）FY26 期初業績予想 対 FY25実績 (億円)



Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-3. セグメント別の決算のポイント(1)

		対FY25 1Q	FY26 1Q　事業概況
食品事業全体	売上高		「調味料・食品事業」と「冷凍食品事業」合わせた全体で増収
	事業利益		「調味料・食品事業」と「冷凍食品事業」合わせた全体で増益

調味料・食品 （調味料、栄養・加工食品、S&I*合計） *ソリューション&イングリディエンツ	国内	売上高		調味料が前年並みにとどまるも、コーヒーの増収に加え、スープも好調で増収を牽引。S&Iも増収し、全体で増収
		事業利益		調味料の増益に加え、原材料高騰に対応する値上げを遂行したコーヒーが大幅増益。全体で大幅増益
	海外	売上高		調味料、栄養・加工食品、S&Iの全てで増収し、全体で大幅増収
		事業利益		調味料が増収に伴い増益、栄養・加工食品とS&Iの減益をカバーして、全体で増益
冷凍食品	国内	売上高		主力のギョーザが好調で全体で増収。 原材料や物流費などコスト上昇の影響を受け、全体で大幅減益
		事業利益		
	海外	売上高		北米を中心に、為替影響もあり全体として増収。 リコール影響からの回復遅れや、原材料や物流費などコスト上昇の影響を受け、全体で大幅減益
		事業利益		

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-3. セグメント別の決算のポイント(2)

		対FY25 1Q	FY26 1Q　事業概況
バイオ&ファインケミカル事業全体	売上高	↗	全体で大幅増収。ファンクショナルマテリアルズ、医薬用・食品用アミノ酸、バイオファーマサービス（CDMO）の全てで増収
	事業利益	↗	全体で大幅増益。ファンクショナルマテリアルズ、医薬用・食品用アミノ酸、バイオファーマサービス（CDMO）の全てで増益

ヘルスケア等	ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）	売上高	↗	電子材料が大幅増収。 AI、サーバー、ネットワークなど、高性能基板向け ABF®の販売が好調
		事業利益	↗	大幅増収により、大幅増益
	医薬用・食品用アミノ酸	売上高	↗	バイオ医薬品向けや培地用途など高付加価値のアミノ酸が伸び、全体で増収
		事業利益	↗	増収により、増益
	バイオファーマサービス（CDMO）	売上高	↗	低分子と遺伝子治療が牽引し、全体で増収・増益。AJIPHASE®は出荷タイミングにより減収・減益も、会社計画通り。
		事業利益	↗	

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-4. 2027年3月期　業績予想の修正

・為替前提：USD/円 150.00

売上高、事業利益、当期利益いずれも上方修正、ファンクショナルマテリアルズ事業の好調な販売状況を反映。期初予想に未反映の中東情勢緊迫化の影響を織り込んだ。

売上高（上方修正）

17,320億円

対前年実績：109%

除く為替影響：109%

修正額：+90億円

事業利益（上方修正）

2,020億円

対前年実績：111%

除く為替影響：111%

修正額：+50億円

親会社の所有者に帰属する当期利益（上方修正）

1,235億円

対前年実績：91%

修正額：+35億円

単位：億円、▲は損サイド		①FY26 修正予想	②FY26 期初予想	③期初予想との差（①-②）	④FY25実績	⑤FY26修正予想 前年比（①/④）
売上高		**17,320**	**17,230**	**90**	**15,837**	**109%**
	調味料・食品	9,986	9,986	-	9,369	106%
	冷凍食品	3,106	3,106	-	2,903	107%
	ヘルスケア等	4,068	3,978	90	3,415	119%
	その他	158	158	-	149	105%
事業利益		**2,020**	**1,970**	**50**	**1,811**	**111%**
	調味料・食品	1,459	1,459	-	1,430	102%
	冷凍食品	121	121	-	84	144%
	ヘルスケア等	850	800	50	662	128%
	その他	51	51	-	60	84%
	全社共通費	▲462	▲462	-	▲425	108%
営業利益		**1,842**	**1,792**	**50**	**1,994**	**92%**
税引前当期利益		**1,802**	**1,752**	**50**	**1,961**	**91%**
親会社帰属当期利益		**1,235**	**1,200**	**35**	**1,346**	**91%**

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-5. 中東情勢による影響と対応方針

中東情勢により、通期で▲250億円（1Q実績を反映）のコスト増影響が出る可能性あるも、機動的な対応で、FY26期中でこの影響を吸収していく。

中東情勢の影響によるリスクと対応方針（1Qまでの実績を反映）

「2027年3月期修正業績予想」に対する影響可能性：▲250億円規模（事業利益）
＜前提＞　原油：ドバイ原油110＄/BBL
為替：USD/円 158.00
(7月から期末まで継続すると仮定)

コスト面のリスク
発酵原燃料（主原料・副原料）、食品原料、包材、エネルギー（電気・ガス）、輸送コストなどにおけるコスト上昇影響が出る可能性。

⇒広範かつ確実なコストダウンを進めるとともに、市場環境に応じた機動的な価格対応を行うことで、影響の最小化を図る。

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

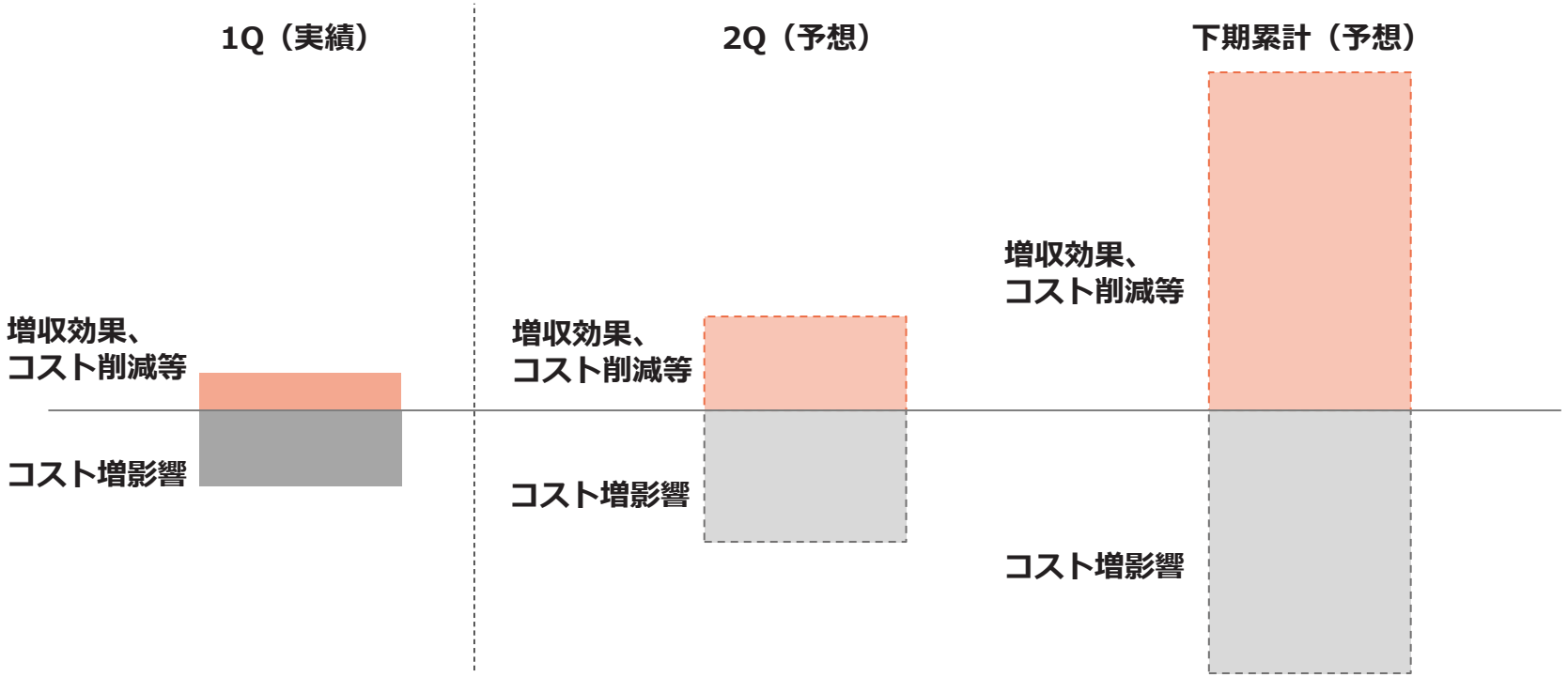
Ⅰ-5.中東情勢による影響と対応方針（食品事業*）

（*「調味料・食品」と「冷凍食品」の合計）

原材料や物流費など、中東情勢によるコスト増影響が2Q以降に本格化する見通し。
機動的な対応を講じ、FY26期中で吸収。食品事業の増益計画の達成を目指す。

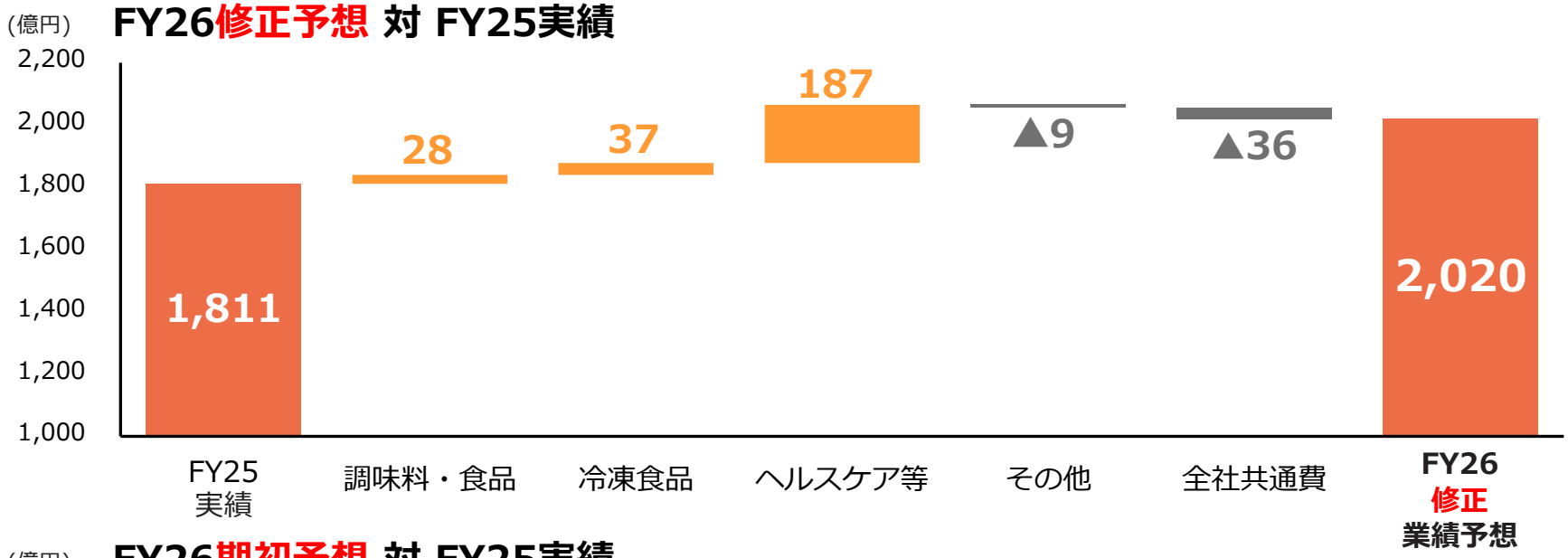
FY26 食品事業*における、中東情勢によるコスト増影響と対応イメージ

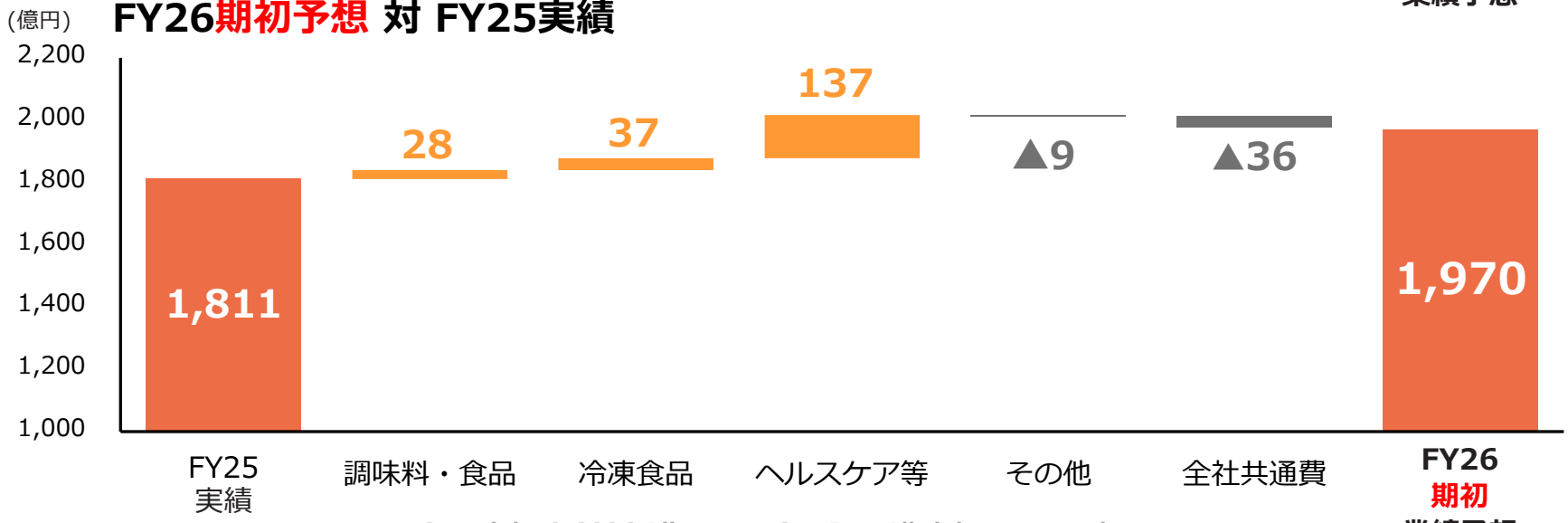
（*「調味料・食品」と「冷凍食品」の合計）



Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-6. 事業利益増減要因（FY26 業績予想）





Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-7. ＜調味料、栄養・加工食品＞ 売上分解

国内・海外別のFY26 1Q（累計）の売上分解（前年比較）

日本国内（コーヒー含む）

FY26 1Q累計実績

日本国内売上 105%

数量 95% 単価 110%

海外（現地通貨ベース）

FY26 1Q累計実績

海外売上 103%（現地通貨ベース）

数量 102% 単価 101%

FY26 1Q (累計)の進捗

国内:原料高騰に対応する値上げを遂行したコーヒーや、スープが増収。

海外:うまみ調味料および風味調味料の安定成長に加え、クッキングソース、
メニュー用調味料などが主要国を中心に伸長。

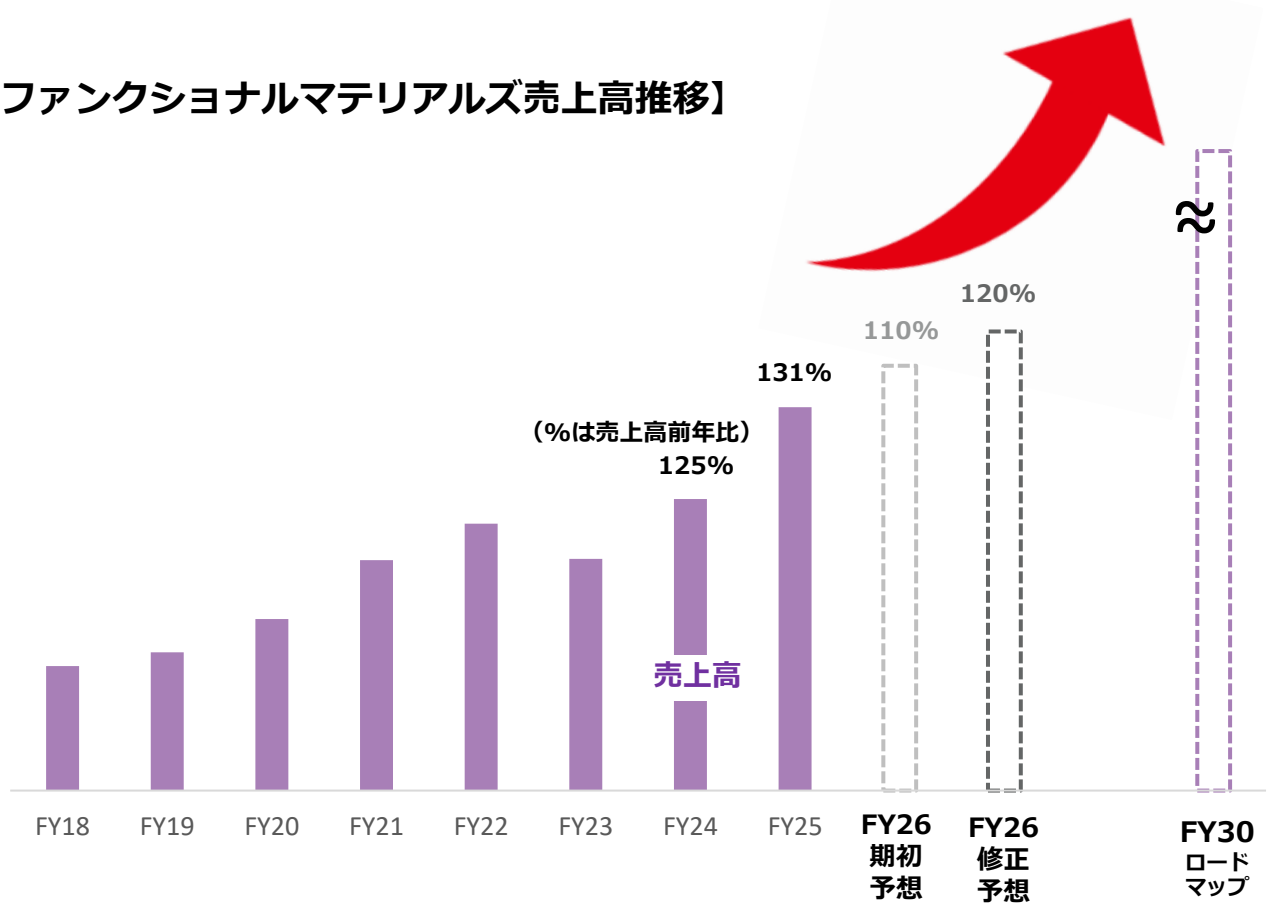
Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-8. ヘルスケア等(ファンクショナルマテリアルズ)

1Q実績を反映し、FY26予想を上方修正（売上高: +90億円、事業利益: +50億円）。
引き続き、AI、サーバー、ネットワークなどの高性能向けABF®の販売が好調、プロダクトミックスも向上している。

*味の素ビルドアップフィルム®。「ABF」は当社の登録商標です。

【ファンクショナルマテリアルズ売上高推移】



ファンクショナルマテリアルズ
FY26 1Q累計 前年同期比

売上高154%
事業利益177%

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-9. ヘルスケア等(ファンクショナルマテリアルズ)

ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）事業の中核を担う「味の素ファインテクノ社（AFT）」を、2027年4月1日を効力発生日として、味の素株式会社に吸収合併する準備を開始していく。

＊詳細は、2026年8月6日発表プレスリリース 「味の素（株）による味の素ファインテクノ（株）の吸収合併に関する基本方針についてのお知らせ」をご参照ください。

**ファンクショナルマテリアルズ事業における競争力を一層高め、
ICT領域の成長をより確かなものにするとともに、
2030ロードマップ前倒し達成に向けた、グループの取り組みを強化する。**



<味の素ファインテクノ社>

設立	1942年9月
資本金	315百万円
事業	電子材料・機能材料の開発・製造・販売
従業員	487名(2026年4月1日現在)
所在地	神奈川県川崎市
売上高	98,383百万円（2026年3月期）
営業利益	53,012百万円（2026年3月期）

<今後のスケジュール>

吸収合併取締役会決議日	2026年11月26日（予定）
吸収合併契約締結日	2026年11月26日（予定）
吸収合併効力発生日	**2027年4月1日（予定）**

本吸収合併に伴い、税務面でポジティブな影響が生じる可能性。
今後精査を進め、開示すべき事項がある場合は、速やかに対応していく。

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Ⅰ-10. ヘルスケア等(バイオファーマサービス<CDMO>)

FY26-1Qは、全体で増収・増益。低分子と遺伝子治療（Forge社）が増収・増益、AJIPHASE®は出荷タイミングにより、減収・減益も会社計画通り。

FY26 1Q累計レビュー	FY26 通期見通し
欧州 主力の低分子を中心に好調が継続	**欧州** 低分子の好調に加え、独自技術の中分子も貢献し、通期で増収・増益を見込む
日本 「AJIPHASE®」は出荷タイミングにより、減収・減益も、会社計画通り	**日本** 3Qに「AJIPHASE®」の増収を予定。「AJICAP®」の収益貢献も見込む。通期で増収・増益を見込む。
北米(Forge社) 増収に伴い、事業利益の赤字が縮小	**北米(Forge社)** EBITDAベースでの今期黒字化を目指す。通期で増収・増益を見込む

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

参考 | セグメント別成長の道筋

セグメント		オーガニック成長率 (前年比)			事業利益（BP） (前年比)			ROIC		EBITDAマージン		
		FY25 実績	FY26 1Q実績	FY26 修正予想	FY25 実績	FY26 1Q実績	FY26 修正予想	FY25 実績	FY26 修正予想	FY25 実績	FY26 1Q実績	FY26 修正予想
調味料・食品	調味料 栄養・加工食品 ソリューション&イングリディエンツ	3.4%	4.1%	約7%	6.6%	13.0%	2.0%	20.8%	約19% WACC 8%	19.8%	21.9%	約19%
冷凍食品	冷凍食品	0.4%	▲1.6%	約7%	84億円	(BP額) 21億円	121億円	0.1% 除く一時要因 5.3%	約5% WACC 5%	7.9%	8.3%	約8%
ヘルスケア等	バイオファーマサービス&イングリディエンツ ファンクショナルマテリアルズ(電子材料等) その他	8.3%	15.7%	約19%	45.1%	63.3%	28.4%	12.0%	約15% WACC 8%	26.5%	32.6%	約27%
全社		3.7%	5.7%	約10%	13.7%	27.3%	11.5%	11.8%	約11% WACC 7%	17.1%	20.3%	約17%

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

中村からのメッセージ

ちゃんと考えて、ちゃんと実行し、FY26業績予想の着実な達成と、2030ロードマップの前倒し達成を目指してまいります。

- **FY26 1Qは、事業利益が四半期として過去最高を更新するなど、力強いスタートを切ることができました。**
- **食品事業の着実な成長に加え、ファンクショナルマテリアルズなど、ヘルスケア等事業が、業績を牽引しました。高速開発システムをベースとする各事業での取り組みが、成果として表れ始めています。**
- **今回、1Qまでの実績を踏まえ、通期業績予想を上方修正しました。まずはこの計画を着実に達成するとともに、足元の取り組みをさらなる成果に繋げてまいります。**
- **外部環境は不透明な要素もありますが、「2030ロードマップ」の実現に向けた取り組みを着実に進め、今後も持続的成長と企業価値の向上を目指してまいります。**



取締役　代表執行役社長　最高経営責任者

中村茂雄

株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。

損益計算書

単位：億円、▲は損サイド

	FY26-1Q累計 (A)	FY25-1Q累計 (A)	増減 (A) - (B)	前年比 (A) / (B)	除く為替前年比 (A) / (B)	FY26通期 修正予想 (C)	進捗率 (A) / (C)
売上高	4,121	3,640	480	113%	105%	17,320	23%
事業利益	601	472	128	127%	119%	2,020	29%
その他の営業収益/営業費用net計	▲42	21	▲63	-	-		
営業利益	558	493	65	113%	-	1,842	30%
金融収益/金融費用net計	▲9	▲13	4	-	-		
税引前当期利益	549	480	69	114%	-	1,802	30%
法人所得税	▲156	▲131	▲25	-	-		
当期利益	393	349	43	112%	-	1,335	29%
親会社の所有者に帰属する当期利益	364	322	42	113%	-	1,235	29%
非支配持分に帰属する当期利益	28	27	1	105%	-	100	28%

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved